

第 2 期

営 業 報 告 書

自 平成 1 4 年 4 月 1 日

至 平成 1 5 年 3 月 3 1 日

青い森鉄道株式会社

営業の状況

1. 概況

平成14年12月1日、盛岡・八戸間の新幹線開業により並行在来線「目時・八戸」間25.9kmがJR東日本旅客株式会社から経営分離されたことに伴い、同区間を「青い森鉄道線」として引継ぎ、運行開始いたしました。

以下、主な概況について報告いたします。

- (1) 平成14年4月1日日本社所在地を青森市から現在地(八戸市大字長苗代字上亀子谷地9番地)に移転し、各許・認可申請など12月1日の運行開始に向けて業務を進めてきました。

第2種鉄道事業許可 平成14年5月28日(国土交通大臣)

- (2) 平成14年11月25日から12月3日の間「移り変わり対策本部」を設置、12月1日開業に向けてカウントダウンを開始し、開業準備に万全を期しました。

- (3) 平成14年12月1日、国土交通大臣(代理)、青森県知事等特別招待者を含む61名が参加し、八戸駅3番ホームにおいて「青い森鉄道線開業記念列車出発式」を行いました。

- (4) 平成14年12月10日～平成15年1月10日の間「年末年始の輸送等に関する総点検」を実施し、安全・安定輸送に務めました。

- (5) 平成14年12月～平成15年3月までの運輸収入金は、下記の通りです。

なお、下記運輸収入金は、会社間清算後の収入金となっております。

(単位：千円、税抜)

年 月	簡易委託・券売機等	他社からの収入	合 計
平成14年12月	6,824	36,055	42,879
平成15年1月	5,732	21,162	26,894
平成15年2月	4,130	19,037	23,167
平成15年3月	4,524	21,304	25,828
計	21,210	97,558	118,768

- (6) 平成14年12月～2月まで乗車人員調査を実施し、その結果は下記の通りです。

(単位：人)

調査月	乗車人員	比率	備 考
平成14年12月	12,296	100%	三戸 八戸間
平成15年 1月	12,040	97.9%	同
平成15年 2月	10,482	85.2%	同

2. 総会、取締役会、監査役会開催状況

(1) 総会

月 日	会議内容	開催場所	決議事項
平成 14 年 6 月 27 日 (木)	平成 14 年度 株主総会	八戸市 (財)八戸地域地 場産業振興センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 損失処理案承認の件 ・ 取締役承認の件 ・ 監査役承認の件 ・ 取締役の報酬の件
平成 14 年 10 月 9 日 (水)	平成 14 年度 臨時株主総 会	八戸市 (財)八戸地域地 場産業振興センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 譲渡車両取得の件

(2) 取締役会

月 日	会議内容	開催場所	決議事項
平成 14 年 6 月 27 日 (木)	第 1 回取締役会	八戸市 (財)八戸地域地 場産業振興センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表取締役選任の件 ・ 役付取締役選任の件 ・ 取締役社長の代行順位決定の件 ・ 取締役使用人職務委嘱の件 ・ 取締役報酬額決定の件
平成 14 年 9 月 11 日 (水)	第 2 回取締役会	八戸市 (財)八戸地域地 場産業振興センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 譲渡車両取得の件 ・ 平成 14 年度開業準備費補正予算の件 ・ 平成 14 年度臨時株主総会開催の件
平成 14 年 11 月 5 日 (火)	第 3 回取締役会	八戸市 (財)八戸地域地 場産業振興センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青い森鉄道線開業式典の件
平成 14 年 12 月 25 日 (水)	第 4 回取締役会	八戸市 (財)八戸地域地 場産業振興センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開業状況報告 ・ 第 2 期営業中間報告の件 ・ 要員計画の件
平成 15 年 3 月 19 日 (水)	第 5 回取締役会	八戸市 青森厚生年金休 暇センター「ウエ ルサンピア八戸」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 15 年度収支予算案の件 ・ 平成 14 年度事業収支見込みの件 ・ 平成 15 年度新規社員採用試験結果の件

平成 15 年 5 月 29 日 (木)	第 6 回取締役会	八戸市 (財)八戸地域地 場産業振興センター	<ul style="list-style-type: none"> ・第 2 期営業報告書、貸借対照表及び損益計算書並びに損失処理案の件 ・平成 15 年度定時株主総会招集の件
-------------------------	-----------	------------------------------	---

(3) 監査役会

月 日	会議内容	開催場所	決議事項
平成 14 年 6 月 27 日 (木)	第 1 回 監査 役会	八戸市 (財)八戸地域 地場産業振興セ ンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常勤監査役選任の件 ・ 第 2 期監査役監査計画決定の件 ・ 監査役報酬額決定の件
平成 14 年 12 月 25 日(水)	第 2 回 監査 役会	八戸市 (財)八戸地域 地場産業振興セ ンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開業準備費経理処理の監査報告の件 ・ 第 2 期監査役監査 (調査) の実施状況の件 ・ 開業状況の報告の件
平成 15 年 1 月 24 日 (金)	監査役会盛岡 運転所調査	J R 盛岡運 転所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両搭載品等現地調査の件
平成 15 年 2 月 25 日 (火)	監査人盛岡 運転所調査	J R 盛岡運 転所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両搭載品等現地調査の件
平成 15 年 5 月 23 日 (金)	第 3 回 監査 役会	本社事務所 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取締役からの営業状況及び計算報告書の説明の件 ・ 独立監査人の監査報告書の報告の件 ・ 監査役の監査報告書の検討及び決定の件 ・ 第 3 期監査役監査計画(案)作成の件

3 . 開業準備状況

(1) 主な許認可関係

開業のための各種許認可の主なものは以下のとおりです。

第 2 種鉄道事業許可申請

ア 申請：平成 14 年 3 月 18 日

イ 許可：平成 14 年 5 月 28 日 (国土交通大臣許可状)

旅客運賃の上限設定申請

ア 申請：平成 14 年 7 月 1 日

イ 認可：平成 14 年 7 月 31 日 (東北運輸局長認可書)

車両確認申請

- ア 申請：平成 14 年 8 月 9 日
- イ 認可：平成 14 年 9 月 3 日（東北運輸局長確認書）

車両確認申請

- ア 申請：平成 14 年 11 月 26 日
- イ 認可：平成 14 年 11 月 28 日（東北運輸局長確認書）

車両確認申請

- ア 申請：平成 14 年 11 月 26 日
- イ 認可：平成 14 年 11 月 28 日（東北運輸局長確認書）

列車の運行の管理の受委託許可申請

- ア 申請：平成 14 年 11 月 26 日
- イ 認可：平成 14 年 11 月 28 日（東北運輸局長許可書）

移動円滑化のために必要な旅客施設及び車両の構造及び設備に関する
認定申請

- ア 申請：平成 14 年 11 月 26 日
- イ 認可：平成 14 年 11 月 28 日（東北運輸局長認定書）

(2) 契約関係

運行及び会社間清算等に関する協定・契約等を青森県、東日本旅客鉄道(株)(以下、「JR東日本」という)、日本貨物鉄道(株)(以下、「JR貨物」という)及びいわて銀河鉄道(株)(以下、「IGR」という)等との間で締結を行いました。

4 . 開業準備設備投資等の状況

(1) 本社社屋の完成と移転

平成 13 年 6 月 1 日から青森県庁内で業務を行ってきましたが、平成 14 年 4 月 1 日、八戸市に本社社屋を賃借し、業務拠点を移転しました。(八戸臨海鉄道株式会社より賃借)

所在地：八戸市大字長苗代字上亀子谷地 9 番地

延面積：199.08 平方メートル

(2) 車両の取得

新造車両

平成 13 年 8 月 1 日一般形交流電車(JRの701系と同等の形式)の物品製作請負契約を締結し、平成 14 年 9 月 12 日走行テスト後、引き渡しを受けました。

また、9 月 13 日、株主及び報道関係者に新造車両の披露を行いました。

ア 請負業者：川崎重工業株式会社

イ 請負金額：243,600 千円(税抜)

ウ 仕様：制御付随車 1 両、制御電動車 1 両

譲渡車両

ア 車両譲渡契約締結

平成 14 年 9 月 13 日 J R 東日本との間で車両譲渡契約を締結しました。(9 月 11 日第 2 回取締役会で決議)

なお、譲渡車両の価額については、譲渡日の属する月の前月末における帳簿価額に相当する金額(税抜 68,865 千円)となっております

イ 検査役選任

商法 246 条第 2 項に基づき検査役の選任を裁判所に請求しました。

- ・ 検査役選任申請：平成 14 年 9 月 9 日
- ・ 検査役決定通知：平成 14 年 9 月 17 日
検査役 熊谷法律事務所 弁護士 熊谷清一
- ・ 検査役調査報告書：平成 14 年 10 月 7 日
結論 「本件車両の譲渡は、相当と史料」
- ・ 検査費用：285 千円(税抜)

車両搭載品関係

(単位：千円、税抜)

NO	品名	規格	数量	金額	購入先
1	EB 装置機能試験器	FJ-7848Ec 型	1	758	富士計測システム
2	速度計試験器	FJ-7995 型	1	1,160	同
3	車両運転自動記録器	FJ-7556 型	1	3,500	富士計測システム
4	バッテリー-充電器	SE1-12-10	1	720	三機商事
5	次駅表示装置		1	1,250	川崎重工業
6	LED 式行先表示器		1	320	同
7	自動放送作成		1	533	川崎重工業
8	譲渡車両改修工事		1	2,557	アサヤマ

(3) 運行、駅関係

NO	品名	規格	数量	金額	購入先
1	運転情報伝達システム		1	242	J R 東情報システム
2	駅跡ター室工事	北高岩駅	1	390	中居工務店
3	同	目時駅	1	265	三戸建設
4	八戸駅駅名標工事		1	1,200	鉄建建設
5	自動券売機		6	12,759	J R 東日本メトロ コクス

(4) 八戸駅乗務員休憩室設置工事

乗務員用休憩室設置工事について、平成13年10月31日JR東日本と協定し、平成14年11月30日引き渡しを受けました。

・工事費 1,540千円(税抜)

5. 開業後の設備投資等の状況 (単位:千円、税抜)

NO	品名	規格	数量	金額	購入先
1	硬貨自動包装機	WS-1	1	520	グローリー商事(株)
2	通信設備移転工事		1	318	北奥羽通信(株)

6. 資金調達の状況

当期中における新たな資金調達はありません。

7. 経営の基本理念及び今後対処すべき当面の課題

(1) 経営の基本理念

当社は、新幹線盛岡・新青森間の開通に伴い、在来線盛岡・青森間が廃止される予定となっていることに鑑み、この区間中、青森県内分について、基幹的交通機関として位置づけ鉄道経営を行うこととし、平成14年12月1日、盛岡・八戸間の新幹線開業と同時に、目時・八戸間の運行を開始しました。この運行については、沿線市町村住民の期待の大きさを深く認識し、以下の基本理念に基づき、役職員一丸となって会社経営に努めます。

地域住民の重要な足として旅客輸送の確保を基本に、健全な経営のもとで、安全性の確保、利用者の利便性の向上を目指します。

新幹線及び他の鉄道線区と連絡する一体的な地域交通ネットワークとしての活用を目指します。

地域住民に身近で環境に優しい公共交通機関として、沿線地域の振興、住民福祉の向上及び地球環境の保全への貢献を目指します。

(2) 当面の課題

昨年12月1日開業しこれまで安全・安定運行に努めた結果、3月7日から8日にかけての県南地方の大雪によって列車が運休したことを除くと、大きな事故もなく順調に推移しております。

今後とも、輸送等に関する総点検を徹底し、無事故による安全・安定運行の継続を目指します。

更に、青い森鉄道線の一層の利用促進を図るため、平成14年11月8日に設立された「青い森鉄道利用促進協議会」が実施する沿線の方々との意見交換等に積極的に参加し、共同で駅等の活性化、環境整備等に取組みます。

また、一人でも多くの方に利用していただくようきめ細かなサービスを継続して実施します。

8. 青い森鉄道利用促進協議会（事務局：青い森鉄道株式会社）

（1）総会

平成 14 年 11 月 8 日、八戸市「八戸地域地場産業振興センター」において開催しました。

会議では、会の名称を「青い森鉄道利用促進協議会」に決定、規約の制定、役員を選任、平成 14 年度事業計画及び予算、事務局を青い森鉄道株式会社内に設置などを決定しました。

役員	会 長	八戸市長
	副会長	南部町長
	監 事	名川町長

（2）沿線市町村担当課・室長会議

平成 14 年 12 月 19 日、福地村役場会議室において第 1 回会議を開催しました。

会議では、青い森鉄道線開業状況報告、民間組織調査中間報告、青い森鉄道利用促進協議会の運営について討議し、民間組織との意見交換会開催について協議しました。

平成 15 年 2 月 25 日、名川町南部芸能伝承館において第 2 回会議を開催しました。

会議では、青い森鉄道線開業後の状況報告、青い森鉄道支援組織実態調査結果報告、平成 15 年度青い森鉄道利用促進協議会総会開催の件について協議しました。

（3）実施事業

青い森鉄道線駅舎清掃

協議会の構成員並びに民間支援組織の参加により無人駅舎の清掃を実施しました。

- ・平成 14 年 11 月 25 日 北高岩駅
- 26 日 目時駅
- 27 日 諏訪ノ平駅、苫米地駅

青い森鉄道線三戸駅開業記念祝賀会

南部町及び三戸駅前老人クラブ等が主催した「青い森鉄道線三戸駅開業記念祝賀会」に佐藤専務取締役、附田駅長及び簡易委託社員等が出席しました。

民間組織との意見交換会

駅名	月日	民間組織	代表者	内 容
目時駅	H15.1.26	目時駅ボランティア組織	上野 洋子	平成 5 年から現在のボランティア組織で活動、昨年 11 月 17 日組織を解

				散、新たに組織し、何らかの形で協力したい
三戸駅	H15.1.22	三戸駅前地区町内会連絡協議会	一ノ渡 潔	25年間活動、年3回花壇等の環境整備を行う予定
三戸駅		三戸駅前老人クラブ		
三戸駅	H15.1.16	南部工業高等学校	荒木関堅二	野球部及び生活指導はボランティアであり、自主性に任せたい
諏訪ノ平駅	H15.1.7	諏訪ノ平町内会	米倉 治男	相談して活動計画を決めたい
諏訪ノ平駅	H15.1.7	諏訪ノ平老人クラブ	沢口 実	これまで通り清掃奉仕活動を続けたいと考えている
剣吉駅	H15.1.17	剣吉中学校 JRC	太田 明德	JRC活動として清掃奉仕は続けたい
剣吉駅	H15.1.17	名久井農業高等学校	斗沢 栄一	「豊かな体験学習」の一環として花壇整備を実施予定
剣吉駅	H15.1.21	剣吉地区コミュニティー推進協議会	西館 鴻一	25年の歴史、駅文庫（桃季文庫）を引き続き実施予定
苫米地駅	H15.1.8	赤十字奉仕団苫米地明治会分団	佐々木登美雄	高齢化しているがこれまで通り奉仕したい
北高岩駅	H14.11.28	高岩町内会	石橋久佐内	相談して決めたい

9. 営業成績及び財産の状況の推移

区 分	平成 13 年度 (第 1 期)	平成 14 年度 (第 2 期)
売上高	0 千円	137,758 千円
当期利益	15,287 千円	61,573 千円
1 株当り当期利益	1,273.93 円	5,131.08 円
総資産	590,923 千円	593,860 千円
純資産	584,712 千円	523,139 千円

会社の概況

1. 主要事業の内容

(1) 運行状況

本年12月からの盛岡・八戸間の運行は、I G Rと共同運行を行い、列車本数は快速8本を含む40本を運転しております。

(2) 駅の営業状況

八戸駅：八戸駅はJ Rとの共同使用ですが、ステーションアテンダントを雇用し、乗車案内、自動券売機使用の助言等を行っております。

三戸駅及び剣吉駅：高校生等の利用者が多いことから、乗車券の発売等を委託（委託社員各2名配置）して営業しております。（委託先は南部町及び名川町）

勤務時間：午前6時45分～午後5時45分（休憩2時間）
目時駅、諏訪ノ平駅及び北高岩駅：駅サポーター（土・日を含め各駅2名）を配置し、自動券売機乗利用案内、冬期間の暖房提供等の業務を行っております。

勤務時間：午前6時30分～10時30分（4時間）

2. 本社所在地

八戸市大字長苗代字上亀子谷地9番地（平成14年4月2日登記済）

3. 株式の状況

(1) 発行済株式数 12,000株

(2) 払込資本金 6億円

(3) 株主 (単位：株、%)

出 資 者		持株数	議決権比率
青 森 県		6,600	55.00
市	青 森 市	540	4.50
	八 戸 市	1,406	11.72
	三 沢 市	64	0.53
	平 内 町	44	0.37
	野 辺 地 町	36	0.30
町	六 戸 町	18	0.15
	上 北 町	20	0.17
	東 北 町	30	0.25
	下 田 町	38	0.32
	天 間 林 村	10	0.08
村	三 戸 町	72	0.60
	名 川 町	42	0.35
	南 部 町	44	0.37
	福 地 村	36	0.30
小 計		2,400	20.00

民間企業	東京中小企業投資育成株式会社	1,000	8.33
	株式会社青森銀行	600	5.00
	株式会社みちのく銀行	600	5.00
	東京電力株式会社	400	3.33
	東北電力株式会社	400	3.33
	計	3,000	25.00
合 計		12,000	100.00

4. 従業員の状況（平成15年3月31日現在）

区 分	人 員	平均年齢	勤続年数	摘 要
総 務 部	4名	30.2才	0.5～1.2ヶ月	・社 員 2名 ・契約社員1名 ・臨時社員1名
運 輸 部	19名	52.6才	0.3～3.5ヶ月	・ 契約社員2名 ・ J Rからの出向 社員 17名
計	23名			

注：上記のほか駅サポーター（平成14年12月～平成15年3月）及び乗車指導員（平成14年12月～平成15年2月）をパート社員として採用しております。

- ・ 駅サポーター：目時駅 2名（1名は、土、日祝日のみ）
諏訪ノ平駅 2名（1名は、土、日祝日のみ）
北高岩駅 2名（交代で勤務）
- ・ 乗車指導員：11名（各行路表に基づき乗車指導）但し期末現在はゼロ。

5. 企業結合の状況

当社は、親会社及び子会社の関係にある会社はありません。

6. 主要な借入先

借入れはありません。

7. 取締役及び監査役（平成15年3月31日現在）

役 職 名	氏 名	常 勤・ 非常勤の別	主 な 職 業
代表取締役 社 長	佐々木 啓 二	常 勤	
代表取締役 専 務	佐 藤 正 勝	常 勤	
取 締 役	中 村 明 義	非 常 勤	青森県企画振興部長
取 締 役	中 村 寿 文	非 常 勤	八戸市長
取 締 役	鈴 木 重 令	非 常 勤	三沢市長

取締役	久慈 豊	非常勤	三戸町長
取締役	二本木 憲一	非常勤	南部町長
取締役	逢坂 雄一	非常勤	平内町長
取締役	西 久男	非常勤	東京中小企業投資育成(株) 業務第7部長
取締役	鳴海 義倫	常勤	当社総務部長
監査役	下村 平太郎	常勤	
監査役	佐藤 立治	非常勤	青森県出納長
監査役	工藤 祐直	非常勤	名川町長

- (注) 1. 平成14年6月27日開催の第1回定時株主総会において、取締役小枝昭は任期満了により退任し、中村明義及び鳴海義倫の両名が取締役に新たに選任され就任いたしました。
2. 取締役鳴海義倫は平成15年3月31日付けで退任いたしました。

注：本営業報告書中記載数字の金額については、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(平成15年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金額	科 目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	202,621	流動負債	70,482
現金・預金	127,839	未払金	59,293
未収運賃	42,226	未払法人税等	322
未収金	12,963	預り連絡運賃	5,784
未収還付消費税等	16,349	前受運賃	3,849
貯蔵品	3,241	預り金	406
固定資産	335,732	賞与引当金	826
鉄道事業固定資産	335,732	固定負債	238
繰延資産	55,507	退職給付引当金	238
創業費	3,275		
開業準備費	52,231	負債合計	70,720
		(資本の部)	
		資本金	600,000
		利益剰余金	76,860
		当期未処理損失	76,860
		(うち当期損失)	(61,573)
		資本計	523,139
資産合計	593,860	負債及び資本合計	593,860

損益計算書

自 平成14年4月1日
至 平成15年3月31日

(単位:千円)

科 目	金	額
経常損益の部		
(営業損益の部)		
鉄道事業		
営業収益	137,758	
営業費	184,966	
鉄道事業営業損失		47,207
全事業営業損失		47,207
(営業外損益の部)		
営業外収益		
受取利息	138	
雑収入	33	171
営業外費用		
創業費償却	1,091	
開業準備費償却	13,057	
雑支出	65	14,215
経常損失		61,251
税引前当期損失		61,251
法人税、住民税及び事業税		322
当期損失		61,573
前期繰越損失		15,287
当期末処理損失		76,860

貸借対照表及び損益計算書についての注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品...最終仕入原価法
- (2) 固定資産税の減価償却の方法
有形固定資産
乗用車を除く工具器具備品...定率法
その他の有形固定資産...定額法
無形固定資産
ソフトウェア...定額法
- (3) 繰延資産の処理方法
創業費...5年間で每期均等額を償却しております。
開業準備費...開業後5年間で每期均等額を償却しております。
- (4) 引当金の計上基準
賞与引当金 従業員の賞与の支給に充てるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。
退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、自己都合による期末退職給与要支給額の100%を計上しております。
- (5) リース取引の処理
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- (6) 消費税等の会計処理
税抜方式によっております。

2. 貸借対照表関係

- (1) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
- (2) 支配株主に対する金銭債権債務は、次のとおりであります。
- | | |
|--------|----------|
| 短期金銭債務 | 5,034 千円 |
|--------|----------|
- (3) 有形固定資産の減価償却累計額 11,830 千円
- (4) 鉄道事業固定資産
- | | |
|--------|------------|
| 有形固定資産 | 334,280 千円 |
| 建物 | 2,167 千円 |
| 車両 | 309,723 千円 |
| 工具器具備品 | 22,390 千円 |
| 無形固定資産 | 1,451 千円 |
- (5) 商法第290条第1項4号に規定する超過額 52,231 千円
- (6) 1株当り当期損失 5,131 円 08 銭

3. 損益計算書関係

- (1) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
- (2) 支配株主との取引高
- | | |
|-----|----------|
| 営業費 | 4,794 千円 |
|-----|----------|
- (3) 営業費
- | | |
|-------|-------------------|
| 運送営業費 | 122,941 千円 |
| 一般管理費 | 49,874 千円 |
| 諸税 | 334 千円 |
| 減価償却費 | 11,816 千円 |
| 計 | <u>184,966 千円</u> |

損失処理案

(単位:円)

科 目	金 額
当期末処理損失	76,860,209
これを次のとおり処理いたします。	
次期繰越損失	76,860,209